

授業概要

企業活動による公害問題の発生と防止、ISO14001 取得などの環境保全への取り組みの段階をへて、環境経営やCSR（企業の社会的責任）に至る流れを、理論と豊富な事例の両方から理解し、経済と環境の関係をトレードオフからトレードオンに変えていく方向と戦略を受講者自身に考えさせ、環境ビジネスを生み出していく力量を身につけさせる。環境経営へのアプローチは、規制・罰則を手段とする政策に始まって、利益・費用を手段とする経済、経営に進んでいる。長期的な面からより効果的なアプローチは、良心・倫理や慣習・伝統のレベルに注目することであり、こうした環境経営の全体的な視野を大切にして授業を進めたい。

授業計画

第1回	はじめに：環境経営とは何か
第2回	環境経営への歩み（1）：四大公害病から環境保全へ
第3回	環境経営への歩み（2）：ISO14000を中心とした国際的な流れ
第4回	環境経営への歩み（3）：法令遵守から環境管理の発想へ
第5回	環境経営への歩み（4）：規則・罰則から利益・費用へ、さらに良心・倫理へ
第6回	環境経営の枠組み（1）：カネとモノの流れに資源と廃棄物を取り入れた経済へ
第7回	環境経営の枠組み（2）：環境経営を支えるエントロピーの原理
第8回	環境経営の枠組み（3）：環境経営を支える情報論の原理
第9回	資源の最適管理（1）：再生可能資源と再生不可能資源
第10回	資源の最適管理（2）：情報・知識・倫理
第11回	資源の最適管理（3）：生物資源の管理の原理
第12回	環境ビジネスの事例（1）：私たちの食品リサイクルの社会実験
第13回	環境ビジネスの事例（2）：自然環境に注目した徳島県上勝町の試み
第14回	環境ビジネスの事例（3）：流通業界の新しい流れとセブンファームの挑戦
第15回	まとめ
第16回	定期試験

到達目標

地球環境問題の解決に経営分野から貢献し、経済の持続的発展を実現するために、環境を守りながら経営を営む環境経営の試みが世界的に広がってきている。ここでは経済と環境の関係をトレードオフからトレードオンに切り替えていくことがカギとなる。本授業ではそうした世界の流れを概観し、そこで求められる理論的な枠組を理解するとともに、最新の環境ビジネスの豊富な事例を学んで、環境経営を主体的に実践していくための理論と方法と学ぶ。みずから環境ビジネスをデザインできるようになるのが、本授業の到達目標である。

履修上の注意

大学では、既存の知識をつめこむのではなく、批判的に検討し、自らの頭で考えて、新しい知識を生み出すところに醍醐味がある。新時代の環境経営をめぐるつぎつぎと問題提起するので、じっくりと考えてほしい。

予習復習

授業の参考資料を下記の私のホームページ（HP）に載せるので、授業前にダウンロードして読んで、授業時のリアクションペーパーに質問点などを書いて下さい。また授業に用いたスライドなども下記のHPに載せるので、復習の際に利用してください。

HPのアドレス <http://www001.upp.so-net.ne.jp/niche/saigaku.html>

評価方法

授業時のレポート（リアクション・ペーパー）40%、期末の筆記試験 60%

テキスト

テキストは使いません。毎回自作のレジメとスライドを準備します。
授業時に参考書・参考資料等をふんだんに紹介します。